

(1) 複式教育研究会

会長 濱口 明大 (東中筋小)
副会長 北代 あかね (利岡小)
事務局 小野川 真紀 (東中筋小)

1. 研究主題

『主体的に取り組み、ともに学び合う児童の育成』
～国語科における『話す・書く』を軸とした学び合いの授業づくりを通して～

2. 研究経過

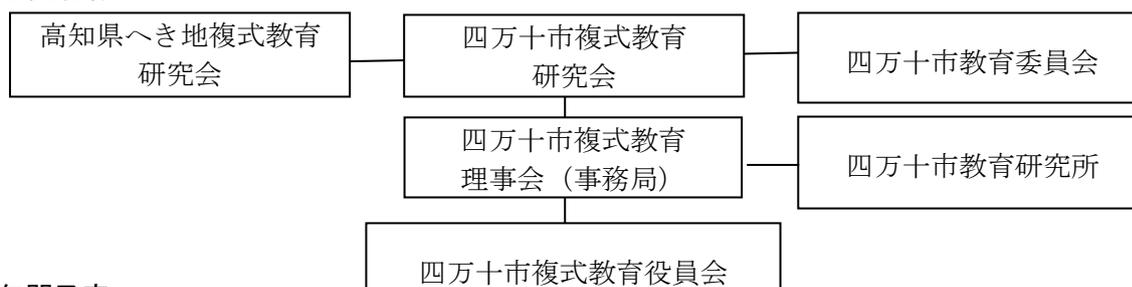
①R7年度会長・副会長・事務局・会場

会長	東中筋小学校
副会長	利岡小学校
事務局 (研究集録の取りまとめ)	東中筋小学校
研究大会の会場校	東中筋小学校
研究大会の期日	令和7年10月29日(水)

②役員

会長	濱口 明大	東中筋小学校 校長	輪 番
副会長	北代 あかね	利岡小学校 校長	輪 番
事務局	小野川 真紀	東中筋小学校 教頭	輪 番
理 事	濱口 明大	東中筋小学校長	
	北代 あかね	利岡小学校長	
	梅原 和砂	中筋小学校長	
	弘瀬 利英	大用小学校長	
	上田 壮	下田小学校長	
	清家 利華子	蕨岡小学校長	
	太宰 三和	竹島小学校長	
	益永 美佳	八束小学校長	

③研究組織



④年間予定

第1回 理事会	令和2年度から中止
---------	-----------

組織総会	令和2年度から中止
指導案検討会→会場校で	令和2年度から会場校のみで実施
研究大会：東中筋集會	令和7年10月29日(水)午後
第2回 理事会	令和2年度から中止

⑤会則

四万十市 複式教育研究会・新会則 (R3年度～)

第1条 この会は、「四万十市複式教育研究会」と称する。

第2条 この会は、複式指導の研究並びに複式校の学力の向上を図ることを目的とする。

第3条 この会は、四万十市の複式校に勤務する教職員とこの趣旨に賛同する者をもって組織する。

第4条 この会は、目的達成のため、次の事業を行う。

(1) 研究大会

第5条 この会の組織として次の部を置く。

◎ 校長部会 (理事会) ◎ 事務局

第6条 この会に次の役員を置く。任期は総会から次年度総会までの1ヶ年とする。

役員名	人数
会長	1名
副会長	1名
理事	各校1名
事務局	1名

第7条 役員の仕事は次の通りとする。

(1) 会長は会を代表する。

(2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。

(3) 理事は各校を代表する。

(4) 事務局は庶務全般にあたる。

第8条 役員を選出は次の通りとする。

(1) 会長・副会長・事務局は輪番とする。

(2) 理事は、原則として各学校の校長が引き受けるものとする。

内 規

○本複式教育研究会に、三原村立三原小学校も組織の一員として加盟する。

○本研究会の研究大会が三原小学校で開催される年度には、研究大会にかかわる費用を三原村教育委員会が予算措置する。

⑥役員輪番予定

年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
会長	大用小	中筋小	三原小	下田小	東中筋小	利岡小	八束小	蕨岡小
事務局	大用小	中筋小	三原小	下田小	東中筋小	利岡小	八束小	蕨岡小
会場校	大用小	中筋小	三原小	下田小	東中筋小	利岡小	八束小	蕨岡小
副会長	中筋小	三原小	下田小	東中筋小	利岡小	八束小	蕨岡小	大用小

大用小→中筋小→三原小→下田小→東中筋小→利岡小→八束小→蕨岡小→大用小… (固定順)

※副会長は次年度の担当校の校長とする (R2年度から)

3. 研究大会（東中筋集会）

令和7年度 第38回四万十市複式教育研究大会 開催要項

- 趣 旨 複式校の実践を交流し、子どもに任せる授業づくりや教師の介入のあり方について講演等から学び、複式教育の充実を図る。
- 主 催 四万十市教育委員会 三原村教育委員会 四万十市複式教育研究会
- 期 日 令和7年10月29日(水) 14:00～16:45
- 会 場 四万十市立東中筋小学校

5 日 程

14:00 14:20 15:05 15:20 15:35 16:35 16:45

受付	公開授業	休憩	開会・ 基調提案	講演	閉会
----	------	----	-------------	----	----

6 公開授業

学 年	教 科	単 元 名	授 業 者
2 年	国 語	みんな知っちゃう？こんなどうぶつのひみつ	橋田 冴
3・4年(複式)	国 語	3年 まとめよう！道具のひみつレポート	畦地 正章
		4年 くらべてまとめる！和と洋新聞	
5・6年(複式)	国 語	5年 文化を受けつぐことについて考えよう	山中 実来
		6年 プラスチックごみの問題について考えよう	

- 講 演 講 師：高知大学附属小学校 教諭 田中 元康 先生

演 題：「複式学級における国語科の指導と授業づくり」
～子どもに任せる授業づくりと教師の介入のあり方～